

生研第21035号
令和3年12月3日

校長・准校長 様
理科・生物科・農業科 様

大阪府高等学校生物教育研究会
会長 柴原 信彦

令和3年度大阪府高等学校生物教育研究会
第3回学術講演会について（案内及び依頼）

貴校ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃は本研究会の活動に特別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年度の生物教育研究会の講演会を下記のとおり開催いたします。つきましては、校務多忙のこととは存じますが、先生のご出席について、ご配慮いただきますようお願いいたします。

「近畿大学水産研究所の養殖研究について～近大マグロを中心に～」と題して、近畿大学水産研究所白浜実験場特任教授 升間主計（ますま しゅけい）先生 に記念講演をしていただきます。生物教員ならぜひ聴取し学んでほしい内容です。

記

1. 日時： 令和4年1月14日（金） 午後3時00分～5時00分
2. 場所： ホテル アウィーナ大阪 3階 生駒の間
(大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号 TEL06-6772-1445)
3. 内容： 講師：近畿大学水産研究所白浜実験場特任教授
升間 主計 先生
演題：近畿大学水産研究所の養殖研究について～近大マグロを中心に～
(講師プロフィール、講演要旨は次ページに)
4. 申込： 参加をご希望される先生は裏面の参加確認票に必要事項を記入し、**本部事務局**へE-mailをお送りください。また、下記のQRコードからネットで申し込みいただくことも可能です。
(ネット申し込み頂けるとこちらの業務の効率化が図れるため非常に助かります)



〈連絡先〉

大阪府高等学校生物教育研究会事務局
(府立事務局) 大阪府立泉陽高等学校
生物科 加藤 励
TEL: 072-233-0588 FAX: 072-233-6645
E-mail: reikt1974@gmail.com
(本部事務局) 大阪教育大学附属高等学校池田校舎
生物科 岡本 元達
TEL: 072-761-8473 FAX: 072-762-1076
E-mail: gentatsu0311@gmail.com

講師プロフィール

升間主計（ますま しゅけい）：

近畿大学水産研究所白浜実験場特任教授、水産研究所長および奄美実験場長兼任。1978年に広島大学水畜産学部水産学科卒業。1980年から（社）日本栽培漁業協会伯方島事業場において栽培漁業を目的としてマダイ、シロギスなどの親魚養成、種苗生産技術開発に従事。1985年から同八重山事業場、1995年から同奄美事業場、事業場長としてマグロ類、ハタ類の親魚養成、種苗生産に従事。2003年に（独）水産総合研究センターと組織統合し、同センター奄美栽培漁業センター場長。2005年より同センター宮津栽培漁業センター場長として勤務。アカアマダイの技術開発に取り組む。2011年に同センター日本海区水産研究所資源生産部長。2012年に近畿大学水産研究所白浜実験場教授、2013年より白浜実験場長、奄美実験場長兼務、2015年に近畿大学水産養殖種苗センター長、2016年に第6代水産研究所長に就任。2020年4月から特任教授・所長として現在に至る。

2006年にクロマグロ、キハダの親魚養成等に関する研究により九州大学から農学博士号を授与された。

著書（分担執筆）に『トコトンやさしい養殖の本』（監修 升間、日刊工業新聞社）、『海とヒトとの関係学①日本人が魚を食べ続けるために』（編著 秋道・角南、西日本出版社）、『マグロの資源と生物学』（編著 独法水産総合研究センター、成山堂）など、他に論文・業界誌などへの執筆多数。



講演要旨

○講演テーマ・要旨

近畿大学水産研究所の養殖研究について～近大マグロを中心に～

世耕弘一近畿大学初代総長により、日本国内での戦後および将来における海産物の生産を目的として「海を耕す」という理念の下に、1948年、大阪理科大学付属白浜臨海研究所として創設された（翌年に近畿大学創立、1960年同水産研究所に改称）。1953年に原田輝雄（後に農博・第2代所長）が着任し、魚類養殖、人工種苗養殖（完全養殖）に関する技術開発・研究と魚類販売（成魚・種苗）による経営（独立採算）を進め、実学と事業化との両輪による研究所経営を実現させた。

本講演では、クロマグロの技術開発・研究による完全養殖完成までの経緯を中心に、国内の海面養殖生産量の約80%（2019年：漁業・養殖業生産統計年報、農水省）を占めるブリ類、マダイなど主要産業魚種に関して水産研究所がこれまでに果たしてきた養殖業への貢献、さらに今後の取り組みなどについて紹介する。